

美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎59)8312)

深く、淡く。織部の新しい表情

今月は、革新的な織部を表現した、『織部茶碗』を紹介します



織部。それは桃山時代に誕生した見る人を驚かせる大胆な意匠が特徴的な「斬新なやきもの」。そんな織部を現代の生活に見事に落とし込んだのが、この『織部茶碗』だ。今までの織部の表現方法から一変し、上から下へと色が徐々に変化していく。自ら調合した緑と白の2種の釉薬を巧みに使い、白から淡い緑、そして深い緑へと、碗の曲線をなぞるように穏やかに変わる独自の技法を3年かけて編み出した。

食卓に並べてみると白く淡い緑のため、他の食器との相性も良く使いやすい。また、緑と白の神秘的なグラデーションを見ていると気分が安らいでくる。

伝統工芸士が編み出した伝統と革新が織りなす現代の織部の形。伝統を継承しながらも、見事なまでに新しい表情を見せる織部が、ここにある。

TOTTOKI作品は陶磁器試験場で
展示しています。

『織部茶碗』

隆月窯(下石町)
土田育弘 さん



市長の部屋から

2月5日(日)

平成28年度土岐市功労者表彰式で、さまざまな分野で本市に貢献いただいた方々を表彰いたしました。また、本市発展のため貴重なご寄付を頂いた方々に感謝状を贈呈いたしました。



各分野において優れた功績を残された皆さまの、そのたゆまぬ努力と研さんはまさに市民のかがみであり、あらためてここに深く敬意を表するものです。また、本市のために多大なるご寄付を頂きました皆さまに対しましても、心より感謝を申し上げます。



本年は新庁舎の建設をはじめ、本市の未来を築くためのプロジェクトが動き出す重要な一年となります。皆さまにおかれましては、その豊富な経験と、高い見識を生かしていただき、本市発展のためにより一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

土岐市長 加藤靖也